

# 平成 29 年度事業報告

## I 平成 29 年度事業報告の概要

## II 管理部門事業報告

## III 事業報告

ベジタボーラ

もりときマーケット

ようこそ森と木ラボ

地域活動支援センター カフェハクナマタタ

もりときピコ

デイセンター風の森

モーリー農場

もりすけ

まめじまカフェ

自立サポート森と木

エンパワメントセンターワンズハウス（共同生活援助）

地域生活相談室ベターデイズ

こども発達支援センターBee

こどもの自立生活館茜舎

ワンズハウス

エンパワメントセンターワンズハウス（ホームヘルプ）

エンパワメントセンターワンズハウス（生活支援）

グリーンハイツ稲田（短期入所）

森と木 365

エンパワメントセンターワンズハウス（短期入所）

あかね舎ファミリーホーム

まめじまカフェ（短期入所）

# I. 平成 29 年度事業の概要

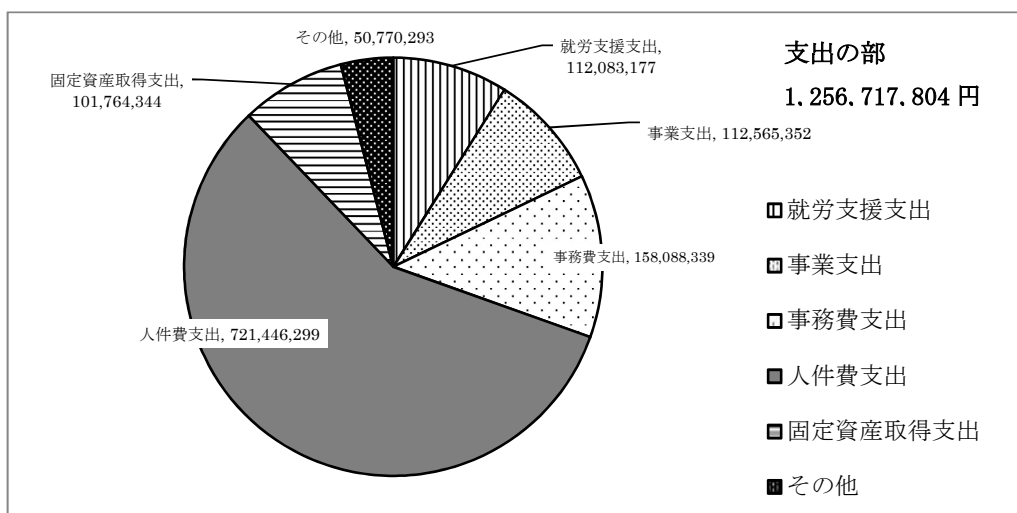
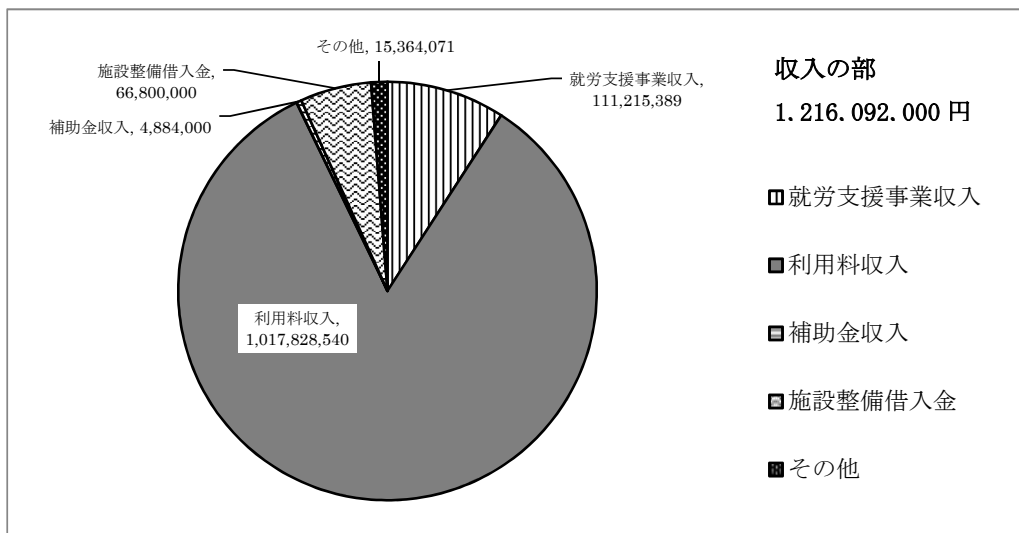
## 1. 総括

平成29年度、社会福祉法改正論議の中で、地域福祉の推進の理念として、支援を必要とする住民が抱える多様で複合的な地域生活課題について、住民や福祉関係者の連携等による解決が図られることを目指す「我が事・丸ごと」というキーワードに注目が集まった。また、子育てや介護、障害福祉等の垣根を越えた連携（包括的な支援体制）も重要な方向性として議論された。当法人でも、障害のある人の社会参加自体が地域の新しいネットワークを作り出せるように、個々人地域と日常的で継続的な関わりをもてるような取り組みを行ってきた。

平成 29 年度の新しい事業としては、9 月に森と木 365 を開設し 18 床の短期入所事業所をスタートさせた。その他の事業は、事業内容や利用定員等の変更はなく安定した事業運営ができた。

主な施設整備では、森と木 365 の改修工事と国庫補助を利用しグループホームぼるて平林とアルファ東和田Ⅱにスプリンクラー設置工事を実施した。

## 2. 決算の状況〔グラフ〕 ※平成 29 年度の資金収支状況



## Ⅱ. 管理部門事業報告

### 平成 29 年度 法人本部

#### 1. 平成 29 年度 理事会、評議員会、内部監査

平成 29 年度の事業計画に基づき、予算執行の協議・検討を行い、安定かつ効果的な法人運営に努めた。

##### (1) 開催内容

	日時	審議内容	審議結果
内部監査	平成 29 年 5 月 15 日 (月) 午前 10 時より	平成 28 年度事業・財産監査	承認
第 1 回 理事会	平成 29 年 5 月 27 日 (土) 午後 1 時 30 分より	第 1 号議案 平成 28 年度事業報告書 (案) について 第 2 号議案 平成 28 年度決算書報告 (案) について 第 3 号議案 平成 29 年度補正予算 (案) について 第 4 号議案 第 9 期理事・監事候補者推薦 (案) について	第 1 号議案：全会一致可決 第 2 号議案：全会一致可決 第 3 号議案：全会一致可決 第 4 号議案：全会一致可決
第 1 回 評議員会	平成 29 年 6 月 17 日 (土) 午後 3 時 00 分より	第 1 号議案 平成 28 年度事業報告書 (案) について 第 2 号議案 平成 28 年度決算書報告 (案) について 第 3 号議案 新役員の選任 (案) について	第 1 号議案：全会一致承認 第 2 号議案：全会一致承認 第 3 号議案：全会一致承認
第 2 回 理事会	平成 29 年 6 月 17 日 (土) 午後 5 時 00 分より	第 1 号議案 理事長と専務理事の選定 (案) について	第 1 号議案：全会一致可決
第 3 回 理事会	平成 29 年 11 月 25 日 (土) 午後 3 時 00 分より	第 1 号議案 平成 29 年度補正予算 (案) について 第 2 号議案 諸規定の改定について	第 1 号議案：全会一致可決 第 2 号議案：全会一致可決
役員懇談会	平成 29 年 11 月 25 日 (土) 午後 4 時 00 分より	上半期報告について	-
第 4 回 理事会	平成 30 年 3 月 10 日 (土) 午後 1 時 30 分より	第 1 号議案 平成 30 年度事業計画 (案) について 第 2 号議案 平成 30 年度予算書 (案) について 第 3 号議案 平成 29 年度補正予算 (案) について 第 4 号議案 諸規定の改定について	第 1 号議案：全会一致可決 第 2 号議案：全会一致可決 第 3 号議案：全会一致可決 第 4 号議案：全会一致可決

##### (2) 理事、評議員、評議員選任・解任委員出欠状況

	日時	出席者	欠席者
内部監査	平成 29 年 5 月 15 日 (月) 午前 10 時より		無
第 1 回 理事会	平成 29 年 5 月 27 日 (土) 午後 1 時 30 分より		
第 1 回 評議員会	平成 29 年 6 月 17 日 (土) 午後 3 時 00 分より		無

第2回 理事会	平成29年6月17日(土) 午後5時00分より		無
第3回 理事会	平成29年11月25日(土) 午後3時00分より		無
第4回 理事会	平成30年3月10日(土) 午後1時30分より		

2. 職員がいきいきと働き続けるための補助事業

職員がいきいきと働き続けるための補助事業を活用し、研修参加や資格取得、関係書籍等を購入し職務の専門性を高めることができた。

研修内容・支給金額・利用人数

研修内容	支給金額	のべ利用人数
書籍購入費(関係書籍等74冊)	188,249円	23人
資格取得費	0円	0人
研修参加費	46,800円	8人
合計	235,049円	31人

3. 職員が法人理念を共有するための補助事業

職員が法人理念を共有するための補助事業を活用し、上司が部下の日頃の思いに耳を傾け部下が上司の理念や仕事に対する考えを学んだりするためのコミュニケーションの場を設けることにより若い職員の資質向上や職員間の法人理念の共有を深めることができた。

開催回数・支給金額

開催回数	支給金額
16回	160,780円

4. 新規職員採用試験

平成30年度新規職員採用試験の実施

(1) 試験日時等

日時 第1回 平成29年7月8日(土) 午前9時30分より  
第2回 平成29年9月9日(土) 午前9時30分より  
第3回 平成29年11月25日(土) 午前9時00分より  
第4回 平成30年2月3日(土) 午前9時00分より

会場 エンパワメントセンター ワンズハウス 2階研修室

内容 筆記試験・面接試験

(2) 採用結果

新人職員 4名採用

5. 平成29年度職員研修の実施

職員のスキルアップを目指して、以下の通り内部研修の実施、外部研修への参加をした。

	研修内容
職員研修	①テーマ別ゼミ ②外部研修(年2回) ③全体職員研修(年1回)

リーダー研修	①長野市障害ふくしネット全体協議会（年2回） ②共に生きるまちづくり研究会タウンミーティング（年4回） ③障害者虐待防止研修（年1回）
パートタイム職員研修	①各施設パート、アルバイト研修（年1回）
その他	①サービス管理責任者研修（4人） ②相談支援専門員初任者研修（4人） ③相談支援専門員現任研修（3人） ④強度行動障害支援者養成研修（16人） ⑤児童発達支援管理責任者研修（1人）

#### 6. 職員託児事業

職員託児事業を行い、育児休業を取得した職員のスムーズな職場復帰と乳幼児のいる職員の職場定着を図ることができた。

場所	ワンズハウス2階 託児室																								
利用者数	4人																								
職員体制	保育士2人																								
開所日	247日(平成29年4月～平成30年3月)																								
開所時間	8:00～19:00																								
基本日課	<table border="1"> <tr> <td>8:00</td> <td>9:30</td> <td>11:30</td> <td>12:30</td> <td>15:00</td> <td>16:00</td> <td>17:00</td> <td>19:00</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> ----- </td> <td colspan="2"> ----- </td> <td colspan="2"> ----- </td> <td colspan="2"> ----- </td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>朝寝</td> <td>昼食</td> <td>昼寝</td> <td>おやつ</td> <td>帰宅①</td> <td>おやつ</td> <td>帰宅②</td> </tr> </table>	8:00	9:30	11:30	12:30	15:00	16:00	17:00	19:00	-----		-----		-----		-----		受入	朝寝	昼食	昼寝	おやつ	帰宅①	おやつ	帰宅②
8:00	9:30	11:30	12:30	15:00	16:00	17:00	19:00																		
-----		-----		-----		-----																			
受入	朝寝	昼食	昼寝	おやつ	帰宅①	おやつ	帰宅②																		

#### 7. 苦情解決状況

苦情の内容		苦情の件数	結果
1 施設運営に関すること	0件	6件	1 解決済み 6件
2 施設整備等に関すること	0件		2 継続中 0件
3 支援に関すること	6件		
4 その他	0件		

#### 8. 第3者委員報告会

日時	内容	出席者
平成30年3月7日(水) 午後1時30分より	平成29年度 苦情解決の状況について	

平成 30 年 3 月 7 日

上記の苦情解決状況報告書を確認しました。

### 平成 29 年度 苦情解決状況 報告書

平成 29 年度における苦情を下記とおり受付・解決しましたので、ご報告いたします。

平成 30 年 3 月 7 日

記

受付日付	事業所	苦情の内容	解決状況
5/22	ベターデイズ権堂分室	利用していた事業所が廃業したにもかかわらず、相談支援専門員からの連絡がなかった。	解決済
6/19	エンパワメントセンター ワンズハウス (共同生活援助)	右親指を骨折していたにも関わらず、その状況を職員が把握していなかった。	解決済
7/4	エンパワメントセンター ワンズハウス (行動援護)	外出支援中に帽子を紛失し職員に問合せをしたが 1 週間経過しても返答がなかった。	解決済
9/7	ベターデイズ権堂分室	生活介護事業所とグループホームを利用しているが、本人が不安定になることが多く入所施設の紹介を相談しているが、具体的に話が進まない。	解決済
9/13	エンパワメントセンター ワンズハウス (共同生活援助)	グループホームでの水道光熱費が高いので、抑えてほしい。	解決済
12/18	エンパワメントセンター ワンズハウス (共同生活援助)	グループホームから帰省する際に他の入居者の衣類を着用していることが多いので気をつけてほしい。	解決済

第三者委員氏名 山岸 津文 

第三者委員氏名 矢下 光子 

事業報告書【平成 29 年度】			
事業所名	主たる事業所：ごはんの森 従たる事業所：ベジタボーラ	サービスの種類	就労継続支援 B 型
1. 総括	<p>弁当製造の調理や配達、店舗での就労機会を提供することで、仕事へのやりがいや誇り、達成感を実感し、充実した職業生活を送ることができるよう支援した。Bee、森と木、風の森厨房では、それぞれ 1～2 名の利用者の方が働き、さまざまな作業種に取り組んだ。弁当、ランチ合わせて、1 日平均 280 食程度、更に食数を増やし、売り上げを伸ばすことができた。</p> <p>1 月より従たる事業所となったベジタボーラでは、店舗だけでなく外部販売やイベント販売、また東急での販売に積極的に出店した。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、就労継続支援を行った。</p> <p>(2) 個別支援計画の作成 就労継続支援計画を作成し 6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した</p> <p>(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議、店舗経営会議</p>		
3. 職員数	管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 5 名、職業指導員 6 名、目標工賃達成指導員 2 名		
4. 利用者実績	1 日平均 11 名（定員 20 名）		
5. 開設時間	ごはんの森 月曜日～金曜日 午前 9：00～午後 4：00 ベジタボーラ 火曜日～日曜日 午前 9:00～午後 4:00		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 弁当製造・給食施設の経営（ごはんの森） 調理、盛りつけ、配達、回収、洗浄作業を行った。 給食施設の運営（こども発達支援センターBee、森と木、風の森）を行った。 売上 39,423,900 円、工賃総額 2,151,450 円、平均工賃 13,480 円/月</p> <p>(2) 店舗の運営（ベジタボーラ） パン屋の運営をし、調理補助、接客、洗浄、清掃、接客、外部販売等の作業支援を行った。また、雑誌やテレビでの紹介なども受入れ、宣伝活動も積極的に行った。 売上 27,865,155 円、工賃総額 1,136,952 円、平均工賃 13,130 円/月</p> <p>(2) 勉強会 もりときマーケットと合同で月に 1 度、「接客について」「衛生について」など店舗で働く上での知識やスキル向上に関わるもの、また「選挙について」「災害について」など生活に関わるもの等のテーマを設け、意見を出し合いながら勉強会を行った。</p> <p>(3) 余暇企画 ボーリングやカラオケ、忘年会や暑気払いなどの余暇活動を実施した。毎回 10 名程度の参加があった。</p> <p>(4) 研修旅行 ごはんの森『食品衛生について・見た目もおいしいお弁当』 平成 29 年 10 月 13 日(金)～10 月 14 日(土) 於：野沢温泉 ベジタボーラ『接客について、新作サンド提案会』 平成 29 年 11 月 27 日(月)～11 月 28 日(火) 於：湯田中</p> <p>(5) 店舗製品作り、アート活動 週に 1 日、希望により絵画などのアート活動を実施した。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 29 年度】			
事業所名	もりときマーケット	サービスの種類	就労継続支援B型 生活介護
1. 総括	<p>レストランや喫茶店など店舗での仕事を通して、やりがいや誇りを感じながらいきいきと働き、充実した就業生活を送ることができるよう支援を行った。日々のコミュニケーションを大切にし、一人一人の好きなこと、得意なことを見極め、新しい作業の提案を行った。また最初は難しいと感じる仕事も、視覚支援や補助道具を活用し、利用者の方に合ったやり方を見つけ、達成感や向上心につなげることができた。</p> <p>余暇企画も継続して行い、他店舗の利用者の方やスタッフとの交流を楽しみながらリフレッシュする機会を作ることができた。</p> <p>曇り時々晴れ、駅前店は繁忙期の客足が伸びず、前年度を下回ったが、もりたろうは前年度並みの売り上げを確保できた。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1)個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活介護及び就労継続支援B型支援を行った。</p> <p>(2)個別支援計画の作成 生活介護計画及び就労継続支援B型計画を作成し6か月に1回モニタリングのケア会議を開催した。</p> <p>(3)その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議、店舗経営会議</p>		
3. 職員数	管理者1名、サービス管理責任者1名、生活支援員5名、職業指導員4名、目標工賃達成指導員看護師1名、嘱託医1名		
4. 利用者実績	1日平均 就労継続支援B型6名（定員10名）、生活介護4名（定員10名）		
5. 開設時間	曇り時々晴れ本店、西洋料理店もりたろう：火曜～日曜 午前9時～午後4時 曇り時々晴れ駅前店：月曜～日曜 午前9時～午後4時		
6. 活動/作業内容	<p>(1)店舗の運営 レストラン、喫茶店等飲食店の運営をし、菓子製造、調理補助、接客、店外販売、清掃等の作業支援を行った。また、ポスティングの他、雑誌やテレビでの紹介なども受入れ、宣伝活動も積極的に行った。</p> <p>①もりたろう 売上23,401,333円、工賃総額529,234円、平均工賃10,710円/月 ②曇り本店 売上9,761,592円、工賃総額1,058,985円、平均工賃13,680円/月 ③駅前店 売上13,127,810円、工賃総額218,385円、平均工賃18,190円/月</p> <p>(2)勉強会の実施 月に1度、「接客について」「衛生について」など店舗で働く上での知識やスキル向上に関わるもの、また「選挙について」「災害について」など生活に関わるもの等のテーマを設け、意見を出し合いながら勉強会を行った。</p> <p>(3)余暇企画 ボーリングやカラオケ、忘年会や暑気払いなどの余暇活動を実施した。毎回7～8名程度の参加があった。</p> <p>(4)研修旅行 店舗ごとに1泊2日の研修旅行を行った。 ・曇り時々晴れ、もりたろう 11/5～11/6 サンクゼール 衛生管理、より良い店作りについて</p> <p>(5)店舗製品作り、アート活動 週に1日、店舗で使うカップやお皿などの製品作り、また絵画などのアート活動を実施した。</p>		
7. 単年度事業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋料理店もりたろうの一部を改装しはっぱカフェを開設した。</li> <li>・ベジタボーラ改修工事</li> </ul>		



事業報告書【平成 29 年度】			
事業所名	ようこそ森と木ラボ	サービスの種類	自立訓練（生活訓練）
1. 総括	<p>発達障害のある人を対象に自己理解を深めながら地域の中で自立した生活を送っていけるようになることを目的に、さまざまな社会体験や学習活動等に取り組んだ。個人で目標を決めて取り組む活動や仲間と目的を共有した共同活動、支援者との面談などを通して周囲の人との信頼関係を築き、自尊心を高めていけるよう支援を行った。</p> <p>また、住民自治協議会や権堂町商店街等と連携イベント等に参加する機会をつくることで、地域の人たちとの関係を築きながら、役割を持って社会へ参加していく経験となるような機会とし、活動に取り組んだ。</p>		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、自立訓練事業を行った。		
	(2) 個別支援計画の作成 自立訓練計画を作成し3か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議		
3. 職員数	管理者1名、サービス管理責任者1名、生活支援員4名		
4. 利用者実績	1日平均10名（定員20名）		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前9：00～午後4：00		
6. 活動/作業内容	(1) 個別活動 興味のあることやできること、やってみたいことを一人ひとりが課題を決めて活動に取り組んだ。検定にむけた勉強や読書、アート制作、パソコントレーニングなど、本人が決めて取り組むことで達成感を感じられる活動となった。		
	(2) 地域活動 子育てサロンへのボランティア参加や市民交流センターのイベント販売、秋葉神社の追儺祭（節分）で大豆の提供を行った。		
	(3) 自分研究 テーマに沿って自分の考えを発表したり、仲間と話し合いをすることで、自分の気持ちを伝える力や相手の話を聞く力など、コミュニケーションスキルを高める活動を行った。		
	(4) 特別活動 長距離のウォーキングイベント「ラボウォーク」を実施（5月11日～12日）、権堂商店街七夕飾りの製作・出展、瑠璃山への登山「ラボ登山」の実施（10月18日）、善光寺灯明祭りの切り絵製作・出展、1年間の活動まとめの発表の機会として「ラボ感謝祭」を開催した。1つの目的に向けて協力し合いながら、仲間との関係を深められる機会となった。		
	(5) 共同作業 企業での共同作業のイメージを持てるようになることを目的にして、協力・連携を取りながら作業を行った。（桜井甘精堂の箱折り、ベジドリームのラベル貼り）		
	(6) 職場見学、職業体験 進路を考えるきっかけ作りとして職場見学や職場体験を行い、就労のイメージを持っていけるような活動を提供した。		
	(7) サークル活動 同じ趣味を持つ友人とともに活動し楽しみを共有しながら仲間関係を深めていくことを目的に取り組んだ（スポーツ活動、文芸活動）		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 29 年度】			
事業所名	地域活動支援センター カフェハクナマタタ	サービスの種類	地域活動支援センターⅡ型
1. 総括	<p>地域活動支援センター「カフェハクナマタタ」では、地域で暮らす障害のある人が安心して過ごせるための居場所の提供を行い、通年で多くの人々の利用があった。個別相談の支援を行い、必要に応じて相談支援専門員や関係機関と連携をとり、次のステップへ移行するための支援も行った。</p> <p>地域活動としては、住民自治協議会や市民交流センター利用者など、地域の人と関係をつくり理解を広めるための企画として、オープンカフェを行った。今年度は開催の頻度を増やし、より多くの人との繋がりをつくることができた。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 憩いの場の提供「カフェハクナマタタ」の運営と相談支援</p> <p>(2) サークル活動の実施</p> <p>(3) 当事者の話す会「しゃべくりカフェ」の開催</p> <p>(4) 各種イベントの開催</p> <p>(5) 地域とつながり理解を広めるための活動「オープンカフェ」の実施</p> <p>(6) カフェ通信「だいじょうぶだぁ通信」の発行</p>		
3. 職員数	管理者 1 名、指導員 1 名、専門職員 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 15 名		
5. 開設時間	火曜日～土曜日 午前 10 : 00～午後 7 : 00		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 「カフェハクナマタタ」の運営と相談支援 誰でも立ち寄れる場所としてカフェを運営した。個別相談の支援も行い、必要な方には相談支援機関と連携を図りながら、次のステップのための情報提供等を行った。</p> <p>(2) サークル活動 平日の夜間と土曜日の日中の時間帯に、料理・ゲーム・ダイエット・クラフトサークルを行った。メンバーを固定して行い、同じ趣味を持つ人同士のつながりができ、楽しみを共有する関係が築けた。</p> <p>(3) しゃべくりカフェ 高校生以上を対象とし、日頃感じていることや悩みなどを話したり、聞きあったりする機会をつくった。思いを共有しあえる機会となった。</p> <p>(4) 各種イベントの開催 喫茶外出やスポーツ、飲み会など、余暇を楽しむためのイベントを開催した。花見や夏祭りなど季節のイベントを楽しめる企画も行った。</p> <p>(5) オープンカフェ 毎月一度（第三木曜日）、住民自治協議会や民生委員等と連携し、地域の人が集える場としてカフェを開放し、地域の人と繋がりをつくったり障害理解を広める機会をつくった。</p> <p>(6) だいじょうぶだぁ通信 2 ヶ月に一度、カフェのイベントやお知らせを掲載した通信を発行し、利用者や相談支援機関、他事業所等に配布し、情報提供を行なった。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 29 年度】			
事業所名	もりときピコ	サービスの種類	放課後等デイサービス
1. 総括	<p>発達障害のある小学生、中学生、高校生を対象に、放課後や休日に安心して過ごせる場所の提供、また支援者や友達との信頼関係を築いたりコミュニケーション力や社会性を育むことを目的にしたプログラムで支援を行った。</p> <p>チャレンジャーズとして、トレッキングやスノーシュー、キャンプ合宿のチャレンジ企画を実施し、友達と協力したり、挑戦する機会となった。</p> <p>またご家族や学校、病院等関係機関との支援会議を行い、連携を図り情報共有をしながら、ご本人が安心して活動できるように取り組んだ。</p>		
2. 事業の内容	(1)個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、放課後等デイサービスの提供を行った。		
	(2)個別支援計画の作成 個別支援計画を作成し6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(3)その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議学校訪問、ケア会議への参加、送迎サービス		
3. 職員数	管理者 1 名、児童発達支援管理責任者 1 名、指導員 6 名		
4. 利用者実績	1 日平均 9 名（定員 10 名）		
5. 開設時間	月曜日～金曜日 午後 3：00～午後 7：00／土曜日 午前 9：30～午後 3：30		
6. 活動/作業内容	(1)学びタイム 宿題のサポートや本を読んだりする自習の時間を設け、支援を行った。		
	(2)友だちタイム 調理や工作、ゲームなど集団活動に取り組むことを通して、友だちとの関わり方やルールを守ること、気持ちのコントロールの仕方などを実践的に学び、自信を高めていけるよう支援を行った。		
	(3)マイルーム 中高生を中心に個々に必要なスキルの向上を目指し、個別の課題に取り組んだ。		
	(4)クラブ活動 同じ趣味の仲間との関わりを楽しめるよう、アート、スポーツ、鉄道のグループに分かれて活動に取り組んだ。同じメンバーで集まる時間となり、関わりを深めながら共に楽しむ姿が見られた。		
	(5)チャレンジャーズ これまでしたことのないことに挑戦することを目的に、5月に地附山登山、戸隠トレッキング、8月に戸隠キャンプと瑠璃山登山、2月に鍋倉高原スノーシューを行った。キャンプは1泊で行い、家族から離れ友だちと宿泊しながら様々な社会体験の場を提供することができた。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 29 年度】			
事業所名	デイセンター風の森	サービスの種類	生活介護
1. 総括	<p>ひとりひとりに合わせた活動環境の中で、作業活動や季節を感じる活動等本人の得意な事や興味ある事を活かしながら活動に取り組めるよう環境をつくり行った。身体の動きや体力に合わせた活動内容を提供することで、本人が様々な活動に主体的に取り組めるよう提供することが出来た。</p> <p>機能維持活動や休憩の取り方など身体状況に合わせ提供し、健康に継続して通所できるような環境に配慮した。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活介護を行った。</p> <p>(2) 個別支援計画の作成 生活介護計画を作成し 6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p> <p>(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議</p>		
3. 職員数	管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 18 名、看護師 1 名 嘱託医 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 23 名（定員 20 名）		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 作業活動 お菓子クラフト木工と全員が作業グループに所属し活動を行った。それぞれの身体の動きに合わせて叩く引っ張る破くなど得意な事を行程に活かし作業内容を提案することで、本人が主体的に取り組めるよう活動を行った。木工作業では、木工専門のスタッフを配置することで作業を円滑に進める事ができ、品質も向上することが出来た。</p> <p>(2) 地域とつながる活動 外で活動することが好きな人、本人の希望に沿いながらも外出や買い物、地域清掃などを地域の中で日常的に行った。地域の方と会話する機会等あった。</p> <p>(3) 季節を感じる活動 季節に合わせて様々な場所への外出企、季節の食材を使った料理企画等、個々に興味ある活動に参加していただく事が出来た。企画も年間を通じ計画的に進めることが出来た。来年度も同じメンバーで継続して企画継続していきたい。</p> <p>(4) 個別活動 図書館、買い物等個人の要望に応じて活動を行った。</p> <p>(5) クラフトショップもりから堂 今年度は森と木創業祭で店舗を開放し、古牧地区の方はじめ様々な方にもりから堂を知っていただく機会を作ることが出来た。買い物客も多くはないが、毎日数人は来ていただけるようになった。もりから堂で計画していた定期的なイベントは行う事が出来ず、来年度の課題にしたい。</p> <p>(6) 余暇活動 活動グループで外食や外出する機会を作った。また、12月7日～8日（1泊2日）にアゼイリア飯綱で忘年会を実施した。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 29 年度】			
事業所名	モーリー農場	サービスの種類	生活介護
1. 総括	個々に応じたわかりやすい環境の中で安心して生活を送り、様々な活動を通して地域の人と繋がりをもてるよう生産活動、販売活動に取り組んできた。また、地域の中における自分の役割を感じ、やりがいをもってその人らしく日々を過ごせるよう支援をおこなった。		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活介護を行った。		
	(2) 個別支援計画の作成 生活介護計画を作成し 6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議		
3. 職員数	管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 15 名、看護師 1 名、嘱託医 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 18 名（定員 20 名）		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 作業活動</p> <p>①ジャムグループ 主に県内産の原材料を使用したオリジナルジャムの製造と販売をおこなった。また併設する「手作りジャムの店モーリーズ」を運営せず、契約先への納品やイベントなどの外部の販売を中心におこなった。</p> <p>②トマトケチャップグループ 上駒沢の圃場にて加工トマトを栽培、収穫をおこなった。また、収穫したトマトを加工し、トマトケチャップの製造・販売をおこなった。</p> <p>③エコグループ 近隣の店舗などへの定期的な空き缶回収、缶の洗浄や減容作業をおこなった。また、作業後の空き缶は業者に納品をおこなった。</p> <p>④受注作業グループ よりわかりやすい日課で安心して活動に取り組めるよう、箱折りやシール剥がし、袋詰めを企業やボランティア団体などから受注し、作業をおこなった。</p> <p>(2) 社会体験プログラム 平日に作業グループごとに外出や食事会などの余暇活動を企画した。また、一泊または日帰り旅行を以下の日程で実施した。</p> <p>①ジャムグループ 6月6日曇り時々晴れ駅前店見学/8月29日サンクゼール見学とバーベキュー 12月12日 カラオケ/2月16日二葉堂ケーキ作り</p> <p>②トマトグループ 6月15日サンクゼール見学とバーベキュー/11月29日もりたろうランチ 1月26日カラオケ/3月19日ポーリング</p> <p>③下請けグループ 6月7日櫻井甘精堂見学/11月27日、12月5日上田城見学 1月23日、25日カラオケ/3月26日イチゴ狩り</p> <p>④缶エコグループ 6月8日BBQ/12月5日、25日 そば打ち体験 1月22日カラオケ/3月16日もりたろうランチ</p> <p>(3) 一泊または日帰り旅行の実施 7月6日～7日軽井沢旅行/7月13日北アルプス国際芸術祭日帰り旅行 7月27日～28日群馬旅行/9月8日、9月15日金沢日帰り旅行 9月21日～22日新潟旅行</p> <p>(4) アート活動 毎週火曜日の午後に、個別の活動として、陶芸や絵画などのアート活動をおこなった。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 29 年度】			
事業所名	もりすけ	サービスの種類	生活介護
1. 総括	個々に応じたわかりやすい環境の中で安心して生活を送り、様々な活動を通して地域の人と繋がりをもてるよう生産活動、販売活動に取り組んできた。また、地域の中における自分の役割を感じ、やりがいをもってその人らしく日々を過ごせるよう支援をおこなった。		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活介護を行った。		
	(2) 個別支援計画の作成 生活介護計画を作成し 6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議		
3. 職員数	管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 10 名、看護師 1 名、嘱託医 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 17 名（定員 20 名）		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00		
6. 活動/作業内容	(1) 作業活動 ①焼菓子グループ 県内産無農薬雑穀にこだわり、健康を意識したグルテンフリーのオリジナル焼菓子の製造・販売をおこなった。また、自家栽培にこだわった小麦粉を使った菓子の製造・販売もおこなった。 ②しいたけグループ 原木しいたけを通年で栽培し、生しいたけ、乾燥しいたけも販売した。なお、夏～秋は飯綱で栽培をおこなった。冬～春は三才のビニールハウスで駒打ちの作業に取り組んできた。また地域の農家のリンゴの枝拾いなどを実施した。		
	(2) 社会体験プログラム 作業グループごとに外出や食事会などの余暇活動を企画・実施した。 ①焼菓子グループ 6月1日、5日中野バラ祭り/8月8日道頓堀暑気払い 12月1日カラオケ/3月12日、19日イチゴ狩り ②しいたけグループ 6月2日バーベキュー/11月22日、27日 そば打ち体験 1月23日、30日もりたろうランチ/3月5日、12日斑尾温泉		
	(3) 施設旅行 7月6日～7日 軽井沢旅行の実施 7月13日 北アルプス国際芸術祭日帰り旅行の実施 7月27日～28日 群馬旅行の実施 9月8日、9月15日 金沢日帰り旅行の実施 9月21日～22日 新潟旅行の実施		
	4. アート活動 毎週火曜日の午後、個別活動として陶芸や絵画などのアート活動をおこなってきた。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 29 年度】			
事業所名	まめじまカフェ マイルーム東和田	サービスの種類	生活介護
1. 総括	行動障害がある自閉症の方や重い知的障害があるために、人との関わりや日常生活に困難を抱えている方を主な対象として、構造化された環境や日課を提供し、安心して社会生活を送るための支援について検証・確立すると共に、無理の無い範囲で人と関わることに慣れていく機会を提供することを目的として活動を行った。		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活介護を行った。		
	(2) 個別支援計画の作成 生活介護計画を作成し 6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議、店舗経営会議		
3. 職員数	管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 16 名、看護師 1 名、嘱託医 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 19 名（定員 20 名）		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00		
6. 活動/作業内容	(1) 活動拠点とそれぞれの目的 まめじまカフェを、利用者の許容できる刺激のレベルに合わせた 3 つの拠点に分け、拠点それぞれで活動を行った。利用者の障害特性に合わせて、各拠点の構造化を図ったり、気になる物を極力減らしたりするなどの支援を行なった。まめじまカフェDゾーン（低刺激な個室）については、常用する人はいなかったが、興奮が高まったり衝動性が抑えられなくなったりした時にクールダウンするための部屋として使用をした。 エコロ缶パークとマイルーム東和田では、それぞれ 6 名ほどの利用者が通所し、小集団でリサイクル活動や受託作業、ボランティア活動などを行った。		
	(2) 基本的な日課となる活動 空き缶リサイクル・企業からの受注作業・課題活動・絵画などのアート活動・ウォーキング等の運動に取り組んだ。		
	(3) 余暇的な活動 森の家を使い、昼休みの時間にカフェを運営した。利用者がお菓子やジュースの飲食ができたり、料理や菓子を一緒に作って食べたりするなど、利用者が楽しめるイベントを計画・実行した。また、個別のニーズに合わせて、買い物・外出・外食・料理などの余暇的な活動を行った。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 29 年度】			
事業所名	自立サポート森と木	サービスの種類	多機能型 (生活介護・自立訓練)
1. 総括	<p>主に特別支援学校を卒業した知的障害のある方を対象に、様々な社会体験プログラムを提供した。活動のなかで地域の店舗や公共施設を積極的に活用し、地域住民との関わりをもつことで、一人ひとりが社会経験を積み、関わりを広げながら自己肯定感を高めていけるよう支援を行った。</p> <p>チャレンジ企画では一人ひとりの目標を明確にし、それを意識することで、一層の達成感や充実感をもつことができるよう支援を行ってきた。</p> <p>また、4年間のプログラムを卒業する人を対象に移行支援を行い、3名が希望する施設へ移行をした。</p>		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 自立訓練計画又は生活介護計画を作成し、それを基に定期的にモニタリングのためのケア会議を実施した。		
	(2) 個別支援計画の作成 自立訓練計画又は生活介護計画を作成し、それを基に定期的にモニタリングのためのケア会議を開催した。		
	(3) その他の事業 健康診断 避難訓練 送迎サービス 職員会議 ケース会議等		
3. 職員数	管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 13 名、看護師 1 名、嘱託医 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 生活介護 11 名 (定員 14 名)、自立訓練 6 名 (定員 6 名)		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 9:00～午後 4:00		
6. 活動/作業内容	(1) 自立生活プログラム 公民館や図書館等の公共施設等や地域の店舗を活用しながら、クラスごとに身近な生活に関わる内容をテーマに社会学習に取り組んだ。また、チャレンジ企画前には事前学習を行い、企画への見通しを持ったり、意欲を高めるプログラムに取り組んだ。		
	(2) 進路支援 森と木 4 年目 (生活介護) の利用者について、定期的な面談を実施し、他法人運営施設への見学、実習をおこなった。計画通り 3 名の方が施設移行することができた。		
	(3) チャレンジ企画 7 月 2 日 森と木登山 (飯縄山) 8 月 24 日・25 日 森と木キャンプ (飯綱東高原) 10 月 26 日・27 日 森と木ウォーク (長野→飯山)		
	(4) 作業活動 製菓作業、下請作業を実施した。		
	(5) アート活動 日々作られる作品から作品展や雑貨製作を行った。定期的な作品展の他に、外部で行う作品展へも参加した。また、キノ前で行うアートイベントに地域の方にも参加してもらうことで繋がりを作ることができた。		
	(6) サークル活動 絵画、うた、スポーツなどのサークル活動の提供をおこなった。アート系サークルでは、もりたろうのはっぱギャラリーの作品展の見学をおこなった。		
	(7) おもしろ文化講座 以下の 2 企画を実施した。 5 月 長野トレッキング協会会員による山の歩き方指導 12 月 地域のしめ縄作りの名人を講師に招き、しめ縄作り		
7. 単年度事業等	なし		



事業報告書【平成 29 度】			
事業所名	エンパワメントセンター ワンズハウス	サービスの種類	共同生活援助
1. 総括	<p>共同生活援助指定事業所として共同生活援助計画に基づき、利用者ひとりひとりが主体的に自らの生活を作り上げられることに焦点をあて、きめ細かな支援を行ってきた。利用者が地域において、共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにそのおかれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排泄及び食事等の介護、相談その他の日常生活上の支援を適切かつ効果的に行った。</p> <p>平成 29 年 4 月には、入居者からの要望を受けコーポやよい他 2 か所のサテライト型ホームを開設した。また、その後も 8 月に 1 か所、平成 30 年 3 月に 2 か所のサテライト型ホームを開設するなど、入居者の要望に応じた暮らしが実現できるよう整備を行い、きめ細やかな支援を行ってきた。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 共同生活援助計画の作成 6 ヶ月に 1 度、共同生活援助計画の見直しを行い必要に応じて変更を行った。</p> <p>(2) 生活支援 食事の提供や、掃除の支援、余暇時間の活動提案など、利用者 1 人 1 人の個別支援計画に沿ったサービスを提供した。</p> <p>(3) その他の事業 職場や通所先で健康診断を受けることができない利用者の方向けに 10 月に長野県健康づくり事業団による健康診断を実施した。また、希望者にはインフルエンザの予防接種や歯科検診の機会を提案し、健康管理に努めてきた。</p>		
3. 職員数	管理者 1 名、サービス管理責任者 3 名、世話人 33 名、生活支援員 60 名		
4. 利用者実績	1 日平均 78 名（定員 102 名）		
5. 開設時間	365 日		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 日常生活上の介助、支援 個別支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。</p> <p>(2) 余暇等の社会参加の支援 個別支援計画に基づき、移動支援サービスや各種イベント等への参加等を提案し、必要に応じて予約などの手続きを行った。</p> <p>(3) 健康管理 体調不良や定期通院等必要に応じて通院に付き添い、医療機関との連携を図りながら日々の健康管理に努めた。</p> <p>(4) 夜間巡回の実施 毎日 16 時～21 時の間に夜間巡回を実施し、入居者の生活状況を把握すると同時に世話人、生活支援員と情報交換を行い、連携を図った。</p> <p>(5) 金銭管理 金銭管理については基本的に法人で行っていないが、金銭管理を行なう家族がおらず、社会福祉協議会の日常生活自立支援事業での対応が難しい方(5 名)については、例外的に法人で管理を実施している。</p>		
7. 単年度事業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼるて平林、アルファ東和田 I スプリンクラー整備 (社会福祉施設等施設整備費国庫補助金)</li> </ul>		

## 各共同生活住居の状況

住居名	開設時期	所在地	定員	現員
コーポ21	平成11年4月	長野市風間1412-11	4名	男性4名
みわ	平成17年10月	長野市三輪8-53-5	5名	女性3名
ぼるて平林A	平成18年4月	長野市平林1-32-15 (1階)	4名	男性4名
ぼるて平林B	平成18年4月	長野市平林1-32-15 (2階)	4名	男性4名
サンディ東和田	平成19年4月	長野市東和田233-1	7名	女性7名
パル平林	平成20年4月	長野市平林1-3-17	5名	男性4名
アルファ東和田Ⅰ	平成21年11月	長野市東和田918-1	6名	男性6名
クオリティ桜	平成22年1月	長野市桜新町801-75	7名	男性3名
メゾン浅川Ⅰ	平成22年9月	長野市浅川押田146-3	12名	男性11名
アルファ東和田Ⅱ	平成23年4月	長野市東和田918-1	6名	女性5名
メゾン浅川Ⅱ	平成24年3月	長野市浅川押田249-1	4名	男性2名
サンハイム稲田	平成24年4月	長野市稲田3-36-28	9名	男性9名
ハイツもりた	平成25年4月	長野市高田203-3	6名	男性3名 女性3名
サンディおわりべ	平成26年4月	長野市西尾張部614-2	4名	女性3名
グリーンハイツ稲田	平成27年3月	長野市稲田2-55-41	6名	男性5名
グリーンハイツ稲田 イースト	平成28年4月	長野市稲田2-55-40	7名	男性6名 女性1名
コーポやよい	平成29年4月	長野市高田664-8	1名	男性1名
上高田アパート	平成29年4月	長野市上高田1157-1	1名	男性1名
ファンタジー21	平成29年4月	長野市三輪2丁目2-34	1名	男性1名
セジュール オークヤード	平成29年8月	長野市風間3001-6	1名	男性1名
コーポピクル	平成30年3月	長野市平林1丁目23-14	1名	男性1名
コーポ田中	平成30年3月	長野市吉田5丁目5-18	1名	男性1名

事業報告書【平成 29 年度】			
事業所名	地域生活相談室 ベターデイズ  ベターデイズ 権堂分室	サービスの 種類	長野市障害者相談支援事業 長野市児童発達相談支援事業 長野県障がい児等療育支援事業 発達障がいサポートマネージャー整備事業 指定一般相談支援事業 指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業 長野市ケアプラン作成事業
1. 総括	<p>児童発達相談では長野市内で放課後デイの事業所が新設され、利用はできるが児童の相談事業所が少なく、ベターデイズで計画相談を受けざるを得ない状況となり、一時的に多くのケースを抱えてしまう状況となった。</p> <p>強度行動障害や、発達障害、精神障害の相談が増えている傾向があり、支援の見通しや、社会資源の不足などにより困難ケースも増加している。委託の相談員と相談支援専門員とでケース情報共有を行い、利用者の状況や支援の方向性についてチーム支援に努めた。</p> <p>長野圏域のネットワーク作りとして、療育事業において放課後のサービス提供事業所連絡会を行い。新たに卒後の進路に係る課題の検討を行った。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1)①長野市相談支援事業・長野市児童発達相談支援事業 長野市在住の障害児者を対象に相談支援を行った。長野市障害ふくしネット（長野市自立支援協議会）に参加し、ケアマネ連絡会での事例検討、施策フォーラムで地域の課題の検討を行った。昨年に続き、地域を対象とした障害児理解のための学習会を行った。 相談件数 身体障害 111 件、重心 118 件、知的障害 977 件、精神障害 499 件 発達障害 1,407 件、高次脳 11 件、その他 94 件</p> <p>(2)長野県障がい児等療育支援事業 長野圏域で在宅の障害児を対象に、園訪問相談を行い必要に応じ療育支援や福祉サービスの情報提供を行った。障害のある子どもを持つ親御さんを対象にゆったりリズム（学習会）を 6 回実施した。卒業後の進路を考える会を行い卒業後の受け入れについて事業所や市町村と課題について話し合った。 相談件数 訪問支援 224 件、同行 77 件、来所相談 139 件、電話相談 1,196 件 メール相談 425 件、個別支援会議 546 件、関係機関 119 件</p> <p>(3)発達障がいサポートマネージャー整備事業 長野圏域を対象にし発達障害のあるご本人や、家族の相談を行っている支援者からの相談を受け、福祉サービスの利用や支援の方向性の検討を行った。医療、教育、福祉の専門機関がそれぞれの役割を理解しつつの緩やかな繋がりを広めてきている。 相談件数 個別支援 164 件、会議等出席 177 件</p> <p>(4)指定一般相談支援事業 入所施設に入所している障害者、又は精神科病院に入院している精神障害者への移行するための相談であるが、対象者はいなかった。</p> <p>(5)指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業 障害者（児）者への継続的な相談支援として、相談の受付、アセスメントを行い障害（児）者の抱えている課題に対し適切なケア計画の作成を行い、安心して地域生活が送れるための見守り支援を行った。 障害児ケア計画 276 件、継続 206 件、障害者ケア計画 295 件、継続 290 件</p> <p>(6)ケアプラン作成事業 長野市在住の方もしくは委託を受けている市町村に在住し希望する方を対象としたケアプランの作成であるが、対象者はなかった。</p>		
3. 職員数	管理者 1 名 長野市委託相談員 2 名 相談支援専門員 6 名 発達障がいサポートマネージャー 1 名 療育コーディネーター 2 名		
4. 開設時間	月曜日～金曜日 午前 8：30～午後 5：30		

事業報告書【平成 29 年度】			
事業所名	こども発達支援センター B e e	サービスの種類	児童発達支援 保育所等訪問支援
1. 総括	<p>障害のある子どもや発達に不安のあるご家族の相談業務を行った。通所する子どもたちの支援として、日常生活における基本的動作の習得や、集団生活に適応することができるような集団活動を提供し、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切な指導及び訓練を実施した。</p> <p>また、発達に心配のある乳幼児期のお子さんに対し、遊びを通して楽しみながら発達を促す支援を行ったほか、家族への子育て支援も行ってきた。</p> <p>地域の保育園、幼稚園へ移行した子どもに対し保育所等訪問支援を行ない、子ども支援や園の保育士にアドバイスを行なった。</p>		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った児童発達支援および保育所等訪問支援を行った。		
	(2) 個別支援計画の作成 児童発達支援計画を作成し、6 か月毎にケア会議を開催した。		
	(3) その他の事業 地域の保育所、小学校等への移行支援を行なった。		
3. 職員数	管理者 1 名、児童発達支援管理責任者 2 名、機能訓練員 1 名、児童指導員 1 名、保育士 7 名、看護師 2 名、訪問支援員 2 名		
4. 利用者実績	児童発達支援 1 日平均 17 名 (定員 25 名) ※契約者数 50 名 保育所等訪問 年間 248 件 ※契約者数 33 名		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 9 : 00～午後 4 : 00		
6. 活動/作業内容	(1) 基本的な生活習慣の形成に関する支援の実施 アセスメントを行い、トイレトレーニングや食事等の基本的な生活習慣の形成に関する支援を行った。		
	(2) 社会性や対人関係に関する支援の実施 集団生活の中での遊びを通して、社会性や対人関係に関する支援を行った。		
	(3) 運動や健康に関する支援の実施 粗大運動を取り入れた活動の提供や、看護師による健康管理などの支援を行った。また、月 1 回土曜日に体操教室、親子教室を開催した。 なかよし教室：年 8 回実施 たいそう教室：年 8 回実施。		
	(4) ママさんグータンの実施 (母親同士の交流会) 5 月 26 日 稲荷山養護学校見学会 6 月 2 日 長野養護学校見学会 8 月 21 日～25 日 プール参観 2 月 19 日～23 日 保育参観		
	(5) みんなの広場の実施 (家族参加のお楽しみ会) 4 月 15 日 おはなみ会 14 家族 7 月 22 日 なつまつり 31 家族 10 月 28 日 うんどうかい (会場：いつわ苑地域交流スペース) 38 家族 12 月 16 日 クリスマス会 35 家族 3 月 25 日 おもいで会、卒園式 (会場：柳原総合市民センター) 27 家族		
	(6) 保育所等訪問支援の実施 保育所 8 園、幼稚園 5 園、小学校 7 校、養護学校 2 校において、個別および担当保育士などへの支援を行った。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 29 年度】			
事業所名	こどもの自立生活館茜舎	サービスの種類	放課後等デイサービス
1. 総括	<p>児童福祉法で定められた放課後等デイサービスの提供を行った。学齢期の障害のある子どもたちが、放課後・休日に年齢相応の様々な社会体験を行えるよう曜日ごと設定されたクラブの参加を通して支援をおこなった。</p> <p>また、家族への支援として介護軽減、緊急時に対応できる体制も整え、障害のある子ども達を地域で支えるための支援を行った。</p>		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画を作成し 6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(2) 個別支援計画の作成 個別支援計画に沿った、放課後等デイサービスの提供をおこなった。		
	(3) その他の事業 送迎サービス、避難訓練、茜舎説明会、個別面談		
3. 職員数	管理者 1 名、児童発達支援管理責任者 1 名、指導員 6 名		
4. 利用者実績	1 日平均 10 名（定員 10 名）		
5. 開設時間	月曜日～金曜日 午後 2:30～午後 6:30 土曜日等学校休業日 午前 9:30～午後 3:30 ※緊急時の対応として、365 日 24 時間の体制を確保		
6. 活動/作業内容	(1) わくわくプログラム 小学校 1 年～3 年生を主な対象とし、週替わりで活動を提供することで様々な社会体験プログラムを実施した。また、長期休暇に関しては特別プログラムを実施し、プールやデイキャンプなどの活動を行った。		
	(2) クラブ 曜日ごと放課後の時間にアウトドア、お料理、アート、おでかけ、スポーツ、お楽しみクラブを実施し、様々な社会体験プログラムを実施した。また、長期休暇に関しては特別プログラムを実施し、プールやデイキャンプなどの活動を行った。		
	(3) 家族会と連携し、草取りを開催した。 草取り(平成 29 年 6 月 8 日、7 月 10 日)		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 29 年度】			
事業所名	ワズハウス	サービスの種類	放課後等デイサービス
1. 総括	<p>児童福祉法で定められた放課後等デイサービスの提供を行った。学齢期の障害のある子どもたちが、放課後・休日に年齢相応の様々な社会体験を行えるよう曜日ごと設定された部活動の参加を通して支援を行い一人ひとりが目標を持って活動に参加できるよう支援をおこなった。</p> <p>また、主な活動場所として地域の施設を積極的に使用し、日々の練習の成果を発表する機会として合宿や記録会などの大会に参加し、自己ベスト更新など一人ひとりの目標を達成する事ができた。</p>		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画を作成し6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(2) 個別支援計画の作成 個別支援計画に沿った、放課後等デイサービスの提供をおこなった。		
	(3) その他の事業 送迎サービス、茜舎説明会、個別面談		
3. 職員数	管理者 1 名、児童発達支援管理責任者 1 名、指導員 6 名		
4. 利用者実績	1 日平均 7 名（定員 10 名）		
5. 開設時間	<p>月曜日～金曜日 午後 2:30～午後 6:30</p> <p>土曜日、学校休業日 午前 9:30～午後 3:30</p> <p>※緊急時の対応として、365 日 24 時間の体制を確保</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 部活動</p> <p>曜日ごと放課後の時間にアートワーク、クッキング、水泳、スポーツ、ダンス部を実施した。また、長期休暇に関しては特別プログラムとし、プールやデイキャンプなどの活動を提供した。</p> <p>日頃の練習の成果の発表の場として、大会や発表会を実施した。</p> <p>①水泳部 7月8、9日 合宿及びサンスポーツ駒ヶ根水泳記録会に出場した。 3月11日 サンアップル水泳大会に出場した。</p> <p>②スポーツ部 10月15日 竜の里須坂健康マラソンに出場した。</p> <p>③ダンス部 3月5日に発表会を実施した。</p> <p>④アートワーク部 3月5日～3月9日の期間で、森と木入口カウンターで展示会を実施した。</p> <p>(2) 森と木家族会と連携し、草取りを開催した。 草取り（平成 29 年 6 月 8 日、7 月 10 日）</p>		
7. 単年度事業等	・ワズハウス 1 階改修工事		

事業報告書【平成 29 年度】			
事業所名	エンパワメントセンター ワンズハウス	サービスの種類	居宅介護・行動援護 移動支援
1. 総括	<p>行動援護事業、市町村移動支援事業の実施要綱に基づき、障害のある大人の人を対象に平日の夕方の時間や休日に、必要な支援を受けながらあらゆる社会体験を通して自己実現・自己選択・自己決定の機会を得られるよう多様なサービスの提供を行った。</p> <p>また、ホームで生活している重度の身体障害、行動障害のある人に対し、自分らしく生活が送れるようヘルパーを派遣し、居宅介護事業の提供を行った。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1)市町村移動支援事業、行動援護事業の実施 平日の夕方や週末に余暇活動の提案をし、参加者に適切な支援を行った。また、集団が苦手な人には個別の外出を提案し、社会参加の機会を提供した。</p>		
	<p>(2)居宅介護 在宅で生活されている人やケアホームで生活されている人を対象に、居宅介護計画に沿った身体介護の提供を行った。また、定期通院などには通院介助の提供を行った。</p>		
	<p>(3)その他の事業 送迎サービス</p>		
3. 職員数	管理者 1 名、サービス提供責任者 2 名 ヘルパー 30 名		
4. 利用者実績	月平均利用時間 居宅介護 330 時間、行動援護 50 時間、移動支援 189 時間		
5. 開設時間	365 日		
6. 活動/作業内容	<p>(1)サークルQ 毎週末の土、日や祝日に外出、ならびにカルチャースクールなどの 2 企画 10 名程度で参加者を募り、余暇支援の提供を行った。また、1泊2日の旅行も3回開催し、年齢に応じた活動の提供を行った。</p>		
	<p>(2)アフター5 (月)料理、(火)歌サークル、(水)アートサークル(木)スポーツ、(金)個別活動(主に行動援護)と活動を設定し、サービスの提供を行った。金曜の個別活動では、それぞれのニーズに応じた活動内容を提供することができた。</p>		
	<p>(3)居宅介護(身体介護、通院介助) 在宅で暮らしている人やケアホーム入居者を対象にヘルパーを派遣し、サービスの提供を行った。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 29 年度】			
事業所名	ワズハウス	サービスの種類	市町村タイムケア 長野市障害児自立サポート
1. 総括	<p>在宅で生活されている方の一時的な預かりや緊急時の預かり、介護軽減等を目的にサービスの提供をおこなった。</p> <p>利用者の身体、その他の状況に応じて、入浴、排せつ及び食事の介助、その他の必要な支援を適切かつ効果的におこなった。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1)市町村タイムケア 障害のある方が、家庭等で介護できないときに一時的な預かりや緊急時の預かりなどをおこなった。</p>		
	<p>(2)長野市障害児自立サポート 障害のある子どもが、地域で充実した生活を送りながら、将来の自立に向けた様々な体験ができるよう支援をおこなった。</p>		
	<p>(3)法人独自サービス 病院の付添等福祉サービスが使えない場合や、タイムケア・自立サポートの上限数を超過してしまった場合などに、利用者の実費負担でサービスの提供をおこなった。</p>		
	<p>(4)その他の事業 送迎サービス</p>		
3. 職員数	管理者 1 名、支援員 2 名		
4. 利用者実績	年間利用時間 タイムケア 10,600 時間、長野市障害児自立サポート 4,782 時間		
5. 開設時間	365 日 24 時間		
6. 活動/作業内容	<p>(1)タイムケア 日中の一時預かりや緊急時などの対応、サークル Q やアフター5 等で外出以外の余暇活動の支援をおこなった。</p>		
	<p>(2)長野市障害児自立サポート 放課後等デイサービス以外の時間帯で児童に対してサービスの提供をおこなった。</p>		
	<p>(3)ダンススクール 毎月 2 回、日曜日に開催した。</p>		
7. 単年度事業等	なし		



事業報告書【平成 29 年度】			
事業所名	グリーンハイツ稲田	サービスの種類	短期入所
1. 総括	<p>児童養護施設などを退所したが家庭での生活が困難な障害者に対し、地域移行のためのアセスメントと必要な支援を検討・実施することを目的に、短期入所のサービスを提供した。</p> <p>利用者の身体、その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排せつ及び食事の介助、その他の必要な相談支援等を行った。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 ケアプランに沿って短期入所サービスの提供を行った。</p> <hr/> <p>(2) その他の事業 送迎サービス、支援会議への出席</p>		
3. 職員数	管理者 1 名、生活支援員 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 1.8 名（定員 2 名）※契約者数 2 名		
5. 開設時間	月曜日～日曜日		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 日常生活上の介助、支援 支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。</p> <hr/> <p>(2) 自立生活に向けた相談、助言 ご本人やご家族から、将来の自立生活についての相談を受け、助言を行った。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 29 年度】			
事業所名	森と木 365	サービスの種類	短期入所
1. 総括	<p>平成 29 年 9 月、法人で運営している短期入所事業所 3 施設を統合し、森と木 365 を開設した。在宅生活をしている障害のある人の家族の介護負担軽減や体験宿泊的な支援等を目的に宿泊の支援を行った。利用者の処遇については、身体、その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排せつ及び食事等の介助を適切かつ効果的に行うことができた。</p> <p>また、長期入院を余儀なくされていた障害のある人の受入や虐待を含めた家庭内トラブルで緊急的な利用が必要な障害のある人の受入を積極的に行い、地域生活をする上でのセーフティーネットの役割を持つことができた。</p>		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った短期入所の提供 ケアプランに沿って短期入所サービスの提供を行った。		
	(2) その他の事業 ・送迎サービスを実施した。 ・利用者の支援会議に参加し、サービスの調整を行った。		
3. 職員数	管理者 1 名、生活支援員 3 名		
4. 利用者実績	1 日平均 14.1 名（定員 18 名）※契約者数 219 名		
5. 開設時間	月曜日～日曜日		
6. 活動/作業内容	(1) 日常生活上の介助、支援 支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。		
	(2) 自立生活に向けた相談、助言 ご本人やご家族から、将来の自立生活についての相談を受け、助言を行った。		
7. 単年度事業等	・森と木 365 開設に伴う改修工事		

事業報告書【平成 29 年度】			
事業所名	エンパワメントセンター ワンズハウス	サービスの種類	短期入所
1. 総括	在宅で生活している障害のある人の外泊体験として、食事の買い物や調理などを支援員と一緒にを行うことで、自立した生活に向けて体験する場の提供を行った。併せて、緊急時の宿泊や家族の介護軽減等を目的に宿泊の支援を行った。 平成 29 年 8 月、森と木 365 の開設に伴い事業所を廃止した。		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 ケアプランに沿って短期入所サービスの提供を行った。		
	(2) その他の事業 送迎サービス、支援会議への出席		
3. 職員数	管理者 1 名、生活支援員 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 3.3 名（定員 4 名）※契約者数 144 名		
5. 開設時間	月曜日～日曜日		
6. 活動/作業内容	(1) 日常生活上の介助、支援 支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。		
	(2) 自立生活に向けた相談、助言 ご本人やご家族から、将来の自立生活についての相談を受け、助言を行った。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 29 年度】			
事業所名	あかね舎ファミリーホーム	サービスの種類	短期入所
1. 総括	<p>あかね舎ファミリーホームについては、実親家庭での生活が困難になった学齢児を主な対象とする為、定例のケア会議を開催し、ケアプランに基づく支援を行うとともに、健全な家庭生活への復帰を目指し、家庭や関係機関との連絡、相談を密に行う支援を行った。</p> <p>平成 29 年 8 月、森と木 365 の開設に伴い事業所を廃止した。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 ケアプランに沿って短期入所サービスの提供を行った。</p>		
	<p>(2) その他の事業 送迎サービス、支援会議への出席</p>		
3. 職員数	管理者 1 名、生活支援員 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 2.1 名（定員 6 名）※契約者数 21 名		
5. 開設時間	月曜～日曜		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 日常生活上の介助、支援 支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。</p>		
	<p>(2) 家庭、関係機関との連携 家庭との面談や学校でのケア会議への出席をし、連携を図った。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 29 年度】			
事業所名	まめじまカフェ	サービスの種類	短期入所
1. 総括	<p>在宅で生活をしている行動障害のある人を主な対象とし、一人ひとりに合わせた宿泊のスケジュール提示や建物の構造化を行い、ご本人の安定した生活の維持や家族の介護負担の軽減等を目的に宿泊の支援を行った。</p> <p>平成 29 年 8 月、森と木 365（短期入所）開設に伴い、事業所を廃止した。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 障害福祉サービスの提供 ケアプランに沿って短期入所サービスの提供を行なった。</p> <p>-----</p> <p>(2) その他の事業 送迎サービス、食事提供サービスの提供を行なった。</p>		
3. 職員数	管理者 1 名、生活支援員 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 3.1 名（定員 4 名）※契約者数 13 名		
5. 開設時間	月曜日～日曜日 午後 4:00～翌日 10:00 ※相談に応じて、日中支援もおこなう		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 日常生活上の介助、支援 支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。</p> <p>-----</p> <p>(2) 自立生活に向けた相談、助言 将来の自立生活についての相談を受け、助言等を行った。</p> <p>-----</p> <p>(3) 家庭、関係機関との連携 家庭との面談やケア会議へ出席するなど、家庭や関係機関との連携を密に図った。</p>		
7. 単年度事業等	なし		